



# 2014年3月期 決算説明会

2014年4月25日

代表取締役社長 謝敷 宗敬

新日鉄住金ソリューションズ株式会社

#### 2014年3月期 連結決算ハイライト



(億円)

	2013/3期	2014/3期	対前年	2014/3期	対公表値
	実績	実績	差異	(前回公表値)	差異
	Α	В	B-A	С	B-C
売上高	1,720	1,800	+80	1,780	+20
業務ソリューション	959	1,077	+118	1,030	+47
基盤ソリューション	186	213	+27	215	-2
ビジネスサービス	575	510	-65	535	-25
売上総利益	313	345	+31	345	-
〈売上高総利益率〉	<18.2%>	<19.2%>	<+1.0%>	<19.4%>	<-0.2%>
販管費	202	220	+18	218	+2
営業利益	111	124	+13	127	-3
経常利益	116	128	+12	130	-2
当期純利益	66	<b>* 71</b>	+5	74	-3

<sup>※</sup>平成26年度税制改正に伴う繰延税金資産の取崩し-2億円を含む。

## 2014年3月期サービス・顧客業種別の売上高

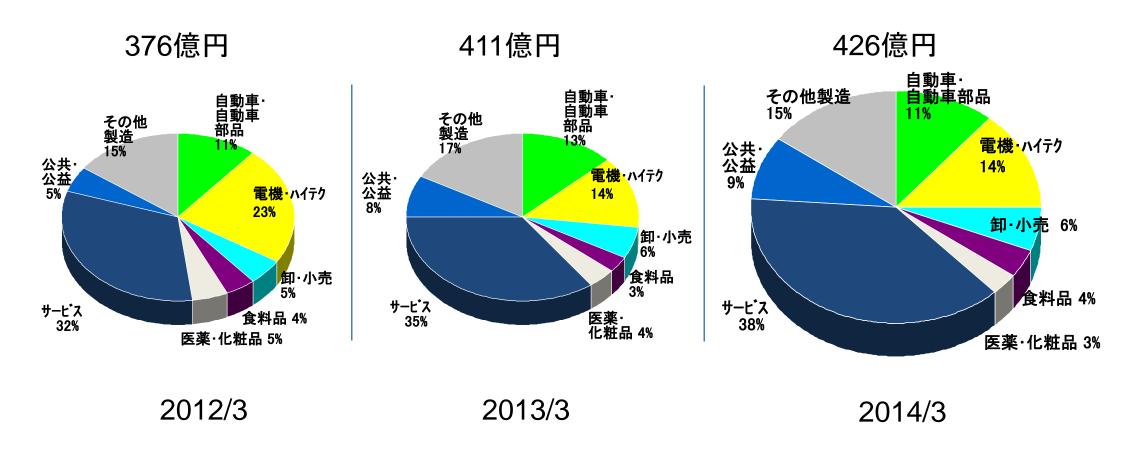


(億円)

	2013/3期	2014/3期	対前年差異	
	実績 A	実績 B	B-A	コメント
業務ソリューション	794	893	+99	-
産業・流通・サービス	411	426	+15	ネット・小売系、鉄道輸送等の増
金融	211	277	+66	メガバンクの増
社会公共他	172	190	+18	中央官庁案件増
基盤ソリューション	166	187	+21	クラウド関連の構築及びサービスの増 プロダクト販売の減
ビジネスサービス	572	508	-64	テレコム及び鉄鋼の減
子会社等	189	212	+23	国内子会社に加え 海外現地法人の売上増
合計	1,720	1,800	+80	_
受注高	1,816	1,867	+51	-

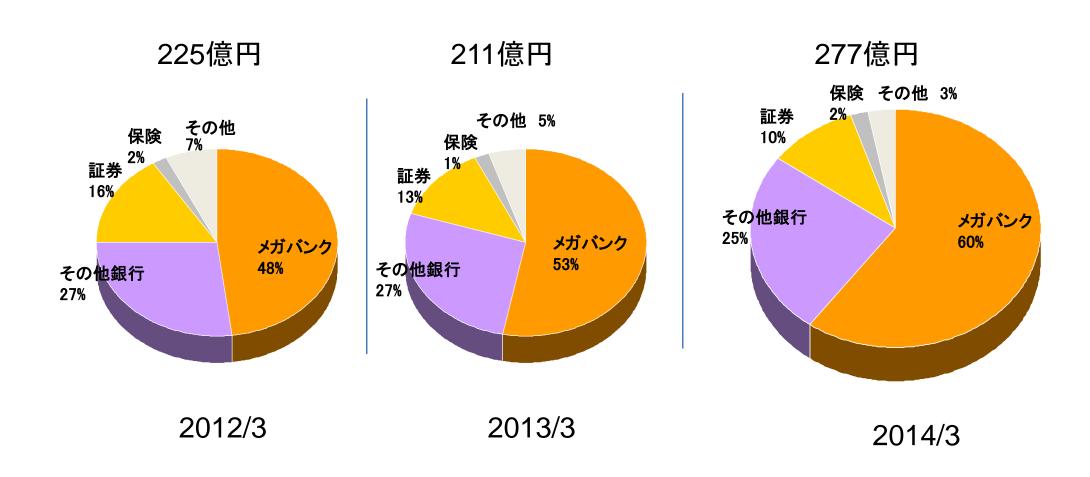
## 産業・流通・サービスの内訳推移(2012/3~2014/3)





#### 金融向の内訳(2012/3~2014/3)





## 2014年3月期 上下別連結業績実績

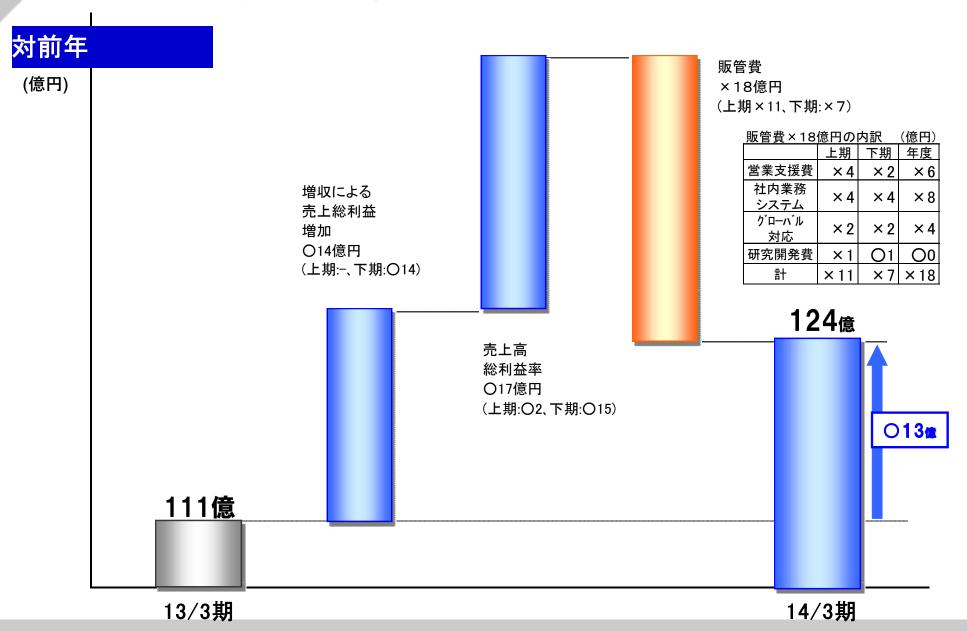


(億円)

	2	013/3期		2	2014/3期			対前年	
	上期	下期	年度	上期	下期	年度	上期	下期	年度
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	差異	差異	差異
	Α	В	С	D	E	F	D-A	E-B	F-C
売上高	817	903	1,720	815	985	1,800	-2	+82	+80
業務ソリューション	433	526	959	461	616	1,077	+28	+90	+118
基盤ソリューション	93	93	186	98	115	213	+5	+22	+27
ビジネスサービス	291	285	575	255	255	510	-35	-30	<u>-65</u>
売上総利益	153	161	313	155	190	345	+2	+29	+31
〈売上高総利益率〉	<18.7%>	<17.8%>	<18.2%>	<19.0%>	<19.3%>	<19.2%>	<+0.3%>	<+1.5%>	<+1.0%>
販管費	99	104	202	110	111	220	+11	+7	+18
営業利益	54	57	111	45	79	124	-9	+22	+13
経常利益	58	59	116	47	80	128	-10	+21	+12
当期純利益	32	34	66	25	46	71	-7	+12	+5

#### 2014年3月期 連結営業利益分析





### 2015年3月期 連結業績見通し



(億円)

	2014/3期 実績 A	2015/3期 見通し B	対前年 差異 B-A
売上高	1,800	1,880	+80
業務ソリューション	1,077	1,105	+28
基盤ソリューション	213	215	+2
ビジネスサービス	510	560	+50
売上総利益	345	362	+17
〈売上高総利益率〉	<19.2%>	<19.3%>	<+0.1%>
販管費	220	225	+4
営業利益	124	137	+13
経常利益	128	140	+12
当期純利益	* 71	82	+11

※平成26年度税制改正に伴う繰延税金資産の取崩し-2億円を含む。

## サービス・顧客業種別の市場認識



サービス・顧客業種	市場認識	市場動向
業務ソリューション		
産業・流通・サービス	製造業は業況の回復に伴い、グローバルオペレーション強化/競争力強化等のニーズによりIT投資が回復基調。ネット系・小売流通は堅調なIT投資が継続。	
金融	メガバンクでは戦略的投資が継続しており、グローバル対応や統合関連の 案件が堅調。地銀は厳しい状況が継続。証券については大手証券の好調な 業績を背景にIT投資が活況。	
社会公共他	IT予算はマイナンバー等で拡大の動きあるものの、既存領域は削減基調。	-
基盤ソリューション	統合基盤構築及びアウトソーシングの需要は堅調。DaaS(*1)/MDM(*2)の 普及も本格化。	-
ビジネスサービス	鉄鋼関連は統合対応により堅調。アイエス情報システムの業務の一部移管による増。テレコムは引き続き厳しい事業環境が継続。運用・アウトソーシングサービスは堅調だが、旧世代サービス減少。	

<sup>\*1:</sup>DaaS:Desktop as a Service

<sup>\*2:</sup>MDM:Mobile Device Management

## 2015年3月期 サービス・顧客業種別の売上高見通し



(億円)

	2014/3期	2015/3期	対前年差異	
	実績 A	見通し B	B-A	コメント
業務ソリューション	893	915	+22	_
産業・流通・サービス	426	445	+19	製造業のIT投資回復 ネット系・小売系は高水準が継続
金融	277	290	+13	メガバンク向け高水準
社会公共他	190	180	-10	中央省庁等案件減
基盤ソリューション	187	190	+3	
ビジネスサービス	508	555	+47	鉄鋼向けの増加 旧世代サービスの減
子会社等	212	220	+8	
合計	1,800	1,880	+80	_

## 2015年3月期 上下別連結業績見通し

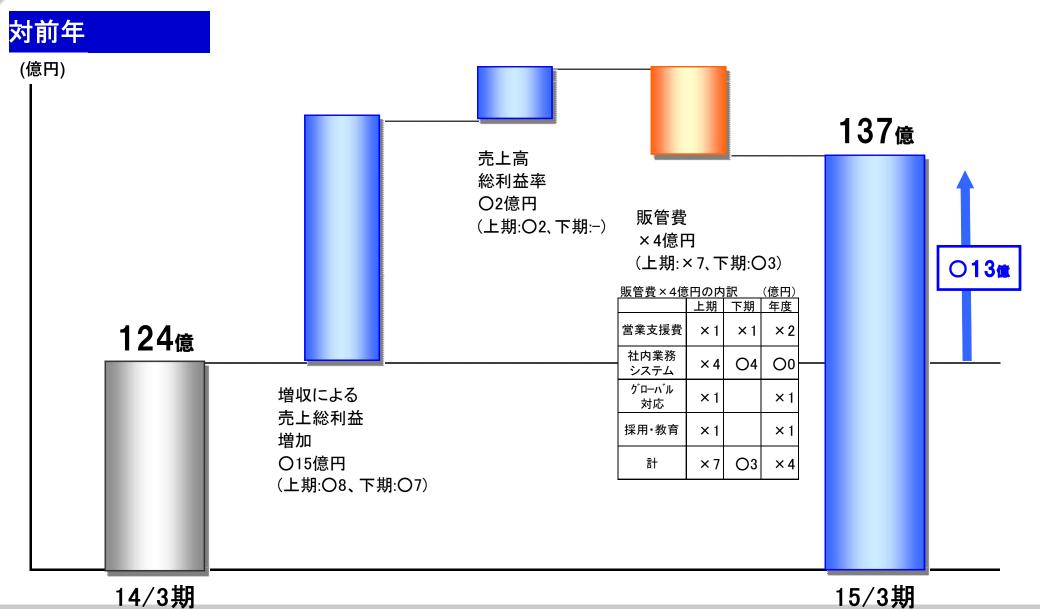


(億円)

	2	014/3期		2	2015/3期			対前年	
	上期	下期	年度	上期	下期	年度	上期	下期	年度
	実績	実績	実績	見通し	見通し	見通し	差異	差異	差異
	Α	В	С	D	E	F	D-A	E-B	F-C
売上高	815	985	1,800	860	1,020	1,880	+45	+35	+80
業務ソリューション	461	616	1,077	480	625	1,105	+19	+9	+28
基盤ソリューション	98	115	213	100	115	215	+2	_	+2
ビジネスサービス	255	255	510	280	280	560	+25	+25	+50
売上総利益	155	190	345	165	197	362	+10	+7	+17
〈売上高総利益率〉	<19.0%>	<19.3%>	<19.2%>	<19.2%>	<19.3%>	<19.3%>	<+0.2%>	<+0.0%>	<+0.1%>
販管費	110	111	220	117	108	225	+7	-3	+4
営業利益	45	79	124	48	89	137	+3	+10	+13
経常利益	47	80	128	50	90	140	+3	+10	+12
当期純利益	25	46	71	27	55	82	+2	+9	+11
期首受注残	784	818		852			+68	_	_

#### 2015年3月期 連結営業利益分析





#### 2014年3月期の主要施策の進捗状況



1.経営機構改革	・取締役会効率化と執行役員制度導入 ・組織改正による事業推進力強化	・第33期定時株主総会の承認を経て実施 ・営業統括本部、産業・流通ソリューション事業本部の設置 等による事業部間連携強化策の推進
	・サーヒ゛スヒ゛シ゛ネスの強化 -アウトソーシンク゛サーヒ゛ス(NSFITOS)の展開 -DaaSサービス(M³DaaS)の展開	-大規模プロジェクトの受注・実行 -実績:DaaS6社(サービス)、VDI6社(構築)、MDM30社
2.トップラインの 拡大	・グローバル展開の加速	<ul> <li>・ケローバルビジネス推進部によるケローバル展開の組織的推進(中国) 武漢分公司開設(2013.10.) absonne for China構築(2014.5.サービス開始予定)(タイ) PALSYS社買収(2013.10.)</li> <li>・グローバル人材育成施策の強化トレーニー制度、現地法人社員の日本での研修</li> </ul>
	·新日鐵住金統合Day2対応	・一般管理系を中心とするシステム統合(Day2)対応     ・新日鐵住金のシステム業務体制についての4社合意     (2013.10.)
3.収益力と事業 基盤の強化	・事業管理システムの刷新 ・戦力構造の高度化	<ul><li>・着実な開発の実行(2014年5月からPhase1利用開始)</li><li>・NSSOLアカデミー(2014.4.設立)</li></ul>

#### 2015年3月期の主要施策



#### 1. 構造的事業成長の実現

- 受注力強化と顧客深堀
- サービスビジネスの強化
- ●グローバル展開の拡充
- 新日鐵住金統合Day2対応

#### 2. リスクマネジメントの強化

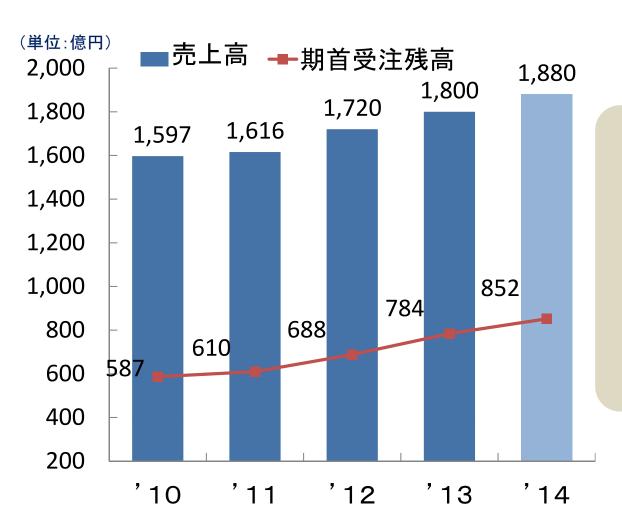
- 開発プロジェクトの管理徹底
- サービス事業のリスク管理強化
- ●情報セキュリティ対策の強化

#### 3. 事業基盤の整備

- 事業管理システム整備
- NSSOLアカデミー運営

#### 受注力強化と顧客の深掘





- 営業統括本部を中心とした 事業部間の営業連携推進。
- ITパートナー戦略に基づく 顧客とのリレーション強化 による長期案件の獲得。

#### NSFITOS(エヌエスフィットス:アウトソーシング案件)実行状況

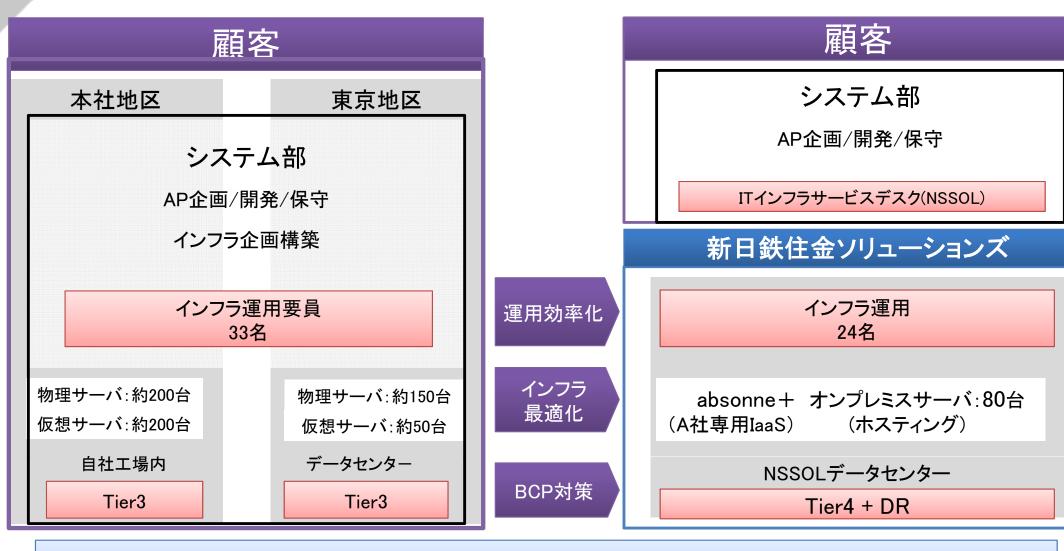


「NSFITOS」: セキュアなDCファシリティに、クラウド基盤「absonne」をコアとするお客様IT環境を構築し、当社フレームワークに基づく標準化したインフラ運用サービスをワンストップで提供するアウトソーシングサービスです。



### NSFITOSを利用したITインフラフルアウトソーシング効果(A社)





「NSFITOS」: お客様とともにインフラ運用に関するPDCAサイクルを回すことで、継続的に業務改善を実現する運用アウトソーシングサービスです。

## グローバル展開(中国・東南アジア)



#### 新日铁住金软件(上海)有限公司

(2002年10月設立)

- ・オフショア開発・保守
- ・現地日系企業サポート
- ・東南アジア向けリモートAP保守
- •R&D
- •中方企業対応
- •武漢分公司(2013年10月)
- •absonne for China (2014年5月サービス開始予定)

#### Thai NS Solutions Co., Ltd.

(2013年1月設立)

- ・日系企業サポート
- ·NSGTプロジェクト立上完了、保守実行
- <u>•PALSYS社買収(2013年10月)、タイNSSOLへの</u> 統合進行中



#### NS Solutions Asia Pacific Pte. Ltd.

(2011年12月設立)

- ・アセアン地域における日系企業サポート
- absonne for Asia Pacific (2013年1月サービス提供開始)

# 移行対象業務分野

#### 新日鐵住金のシステム業務移管



- ・日本IBMが新日鐵住金から受託しアイエス情報システムが実行している旧住友金属の本社・各製鐵所における システム業務について日本IBMとの連携のもと、以下のスケジュールで順次NSSOLが受託していきます
- ・2014年1月に鉄鋼ソリューション事業部内に「統合推進本部」を設置し、4社合意に沿って、アイエス情報システム からの出向者受け入れ等、業務移管の準備を進めています。



アイエス情報システムから 126名の出向受け(4月から)

#### リスクマネジメントの強化



#### - 開発プロジェクトの管理徹底

- 個別案件毎にフェーズ終了時のプロジェクトレビューを徹底
- BU毎に全大型案件を対象に定点棚卸を実施し、プロジェクト 実行状況をモニタリング

#### サービス事業のリスク管理強化

- 新規サービス案件の企画段階でのリスク評価の徹底
- サービス開始後の保有リスクに基づく定期モニタリング

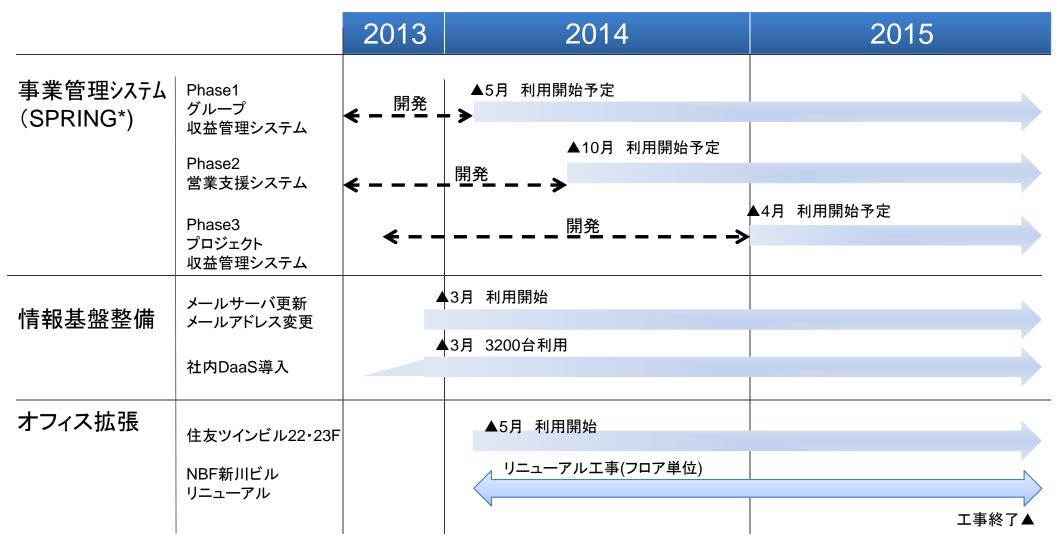
#### ・情報セキュリティ対策の強化

- 運用業務における体制の整備とルールの徹底
- セキュリティ関連技術強化

#### 3. 事業基盤の強化

#### 事業基盤の整備





<sup>\*:</sup> SPRING (Strategic, Precise & Robust Information for Growth)

#### NSSOLアカデミーの設置



- お客様のビジネス価値向上への貢献
- 高難度、大規模なシステム開発、大型ITOの対応
- 営業、管理スタッフを含めた総合的な事業遂行力の強化



当社グループの持続的な事業成長を担う高度人材の育成

#### 人材育成機関「NSSOLアカデミー」

- 高度な専門性と、広い経験、強いリーダーシップを備えた実行力のある人 材(LP: Leading Professional)を育成する機関を新設
- 人材類型毎に「コミュニティ」を設置し、運営 ドメインモデリング、ITモデリング、プロジェクトマネジメント、運用サービス マネジメント、の技術系4人材類型で開始。(今後、営業・管理に拡大予定)
  - ※人材類型は、経済産業省が定めた共通キャリア・スキルフレームワーク (CCSF)等をふまえ、ITスキル標準(ITSS)の職種を大括り化して再編
  - ※LPはITSSのレベル6・7相当



洞察力

達成力

構想力

伝承力

共創力

#### NSSOLアカデミーの設置



ビジネスユニット(事業部)

マーケットセグメント毎の 製・販一体の事業推進組織 NSSOLアカデミー

人材類型毎のLPコミュニティ による相互啓発、人材育成機関



NSSOLの持続的な事業成長





伝承力



#### 下期以降主要プレスリリース(1)



当社のデスクトップ仮想化サービス「M³DaaS(エムキューブダース)@absonne」が 9月24日 各種アワードを獲得 新日鐵住金のシステム統合進捗状況およびシステムに関する業務体制の変更について 10月16日 10月22日 動画コンテンツを効果的にキャッシュし、低遅延とネットワーク費用の削減を両立させる Allot社 MediaSwift Eの日本国内向けの販売を開始 10月31日 タイPALSYS Software社の株式取得(子会社化)に関するお知らせ クラウドビジネス強化のためEMCジャパンと協業 12月12日 -EMCの既存販売パートナー第一号として、「Velocity サービス プロバイダー プログラム」を締結-契約文書をクラウドで管理し、業務効率を劇的に向上する電子契約サービス 12月18日 CONTRACTHUB(コントラクトハブ)@absonne(アブソンヌ)を販売開始 新日鐵住金のシステム業務の開発・運用体制変更を円滑に進めるための専任組織を設置 12月25日 新日鉄住金ソリューションズがエクスペリアンジャパンのライフスタイルデータ 1月9日 「Experian Mosaic Japan」を活用したマーケティング・データ分析サービスを提供開始

## 下期以降主要プレスリリース②



1月28日	Windows Server 2003からの移行措置としてabsonne (アブソンヌ) の活用を推進
2月3日	宮崎銀行、新日鉄住金ソリューションズが提供する外為インターネットサービス
	~CrossMeetz~「為替予約サービス」を利用開始
2月4日	新日鉄住金ソリューションズ、モバイルデバイス管理サービスを自社クラウド基盤
	「absonne(アブソンヌ)」上で提供開始
2月18日	新日鉄住金ソリューションズ、三次元CAD向けにセキュリティ・コスト優位な3DCAD
	仮想デスクトップパッケージを提供開始
3月4日	高度IT人材の育成機関「NSSOLアカデミー」を設立
3月6日	常陽銀行、法人向け外為インターネットバンキングを新日鉄住金ソリューションズの
	外為総合インターネットサービス~CrossMeetz~へ刷新
3月31日	ミニマックス問題を高速に解く評価関数 iNorm\アイノルムを開発
	~無償トライアルサービスの提供開始~

## 配当方針



- ◇安定配当と将来の事業拡大等に備えた内部留保の確保
- ◇株主への利益還元



2014年3月期 40.00円



2015年3月期 45.00 円



本資料には当社又は当社役員の当社の営業成績及び財政状態に 関する意図、意見又は現時点の予想と関連する将来予想が記載され ております。この将来予想は、歴史的事実でも将来の業績を保証する ものでもないため、リスクと不確定な要素を含んでおります。実際の業 績は様々な要因により異なる可能性があります。当社は、この将来予 想を、これらの変化要因を反映するために修正することを保証するも のではありません。



http://www.ns-sol.co.jp/

NS Solutions、NSSOL、NSロゴは、新日鉄住金ソリューションズ株式会社の商標又は登録商標です。 その他、資料中に記載の会社名・製品名は、それぞれ各社の商標又は登録商標です。